

正 誤 表

『精神科「フライング診断」を乗り越える』項目 13. 皮膚寄生虫妄想を示した躁病内 p84
「4 最終診断」に誤りがございましたので、下記のように訂正してお詫び申し上げます。

誤) 4 最終診断

皮膚寄生虫妄想が躁病の寛解後に消失するならば、本症例の診断は「双極症 **II型**、現在のエピソードは**軽躁**、気分不一致精神症性エピソードを伴う」となるであろう。しかしどちらも独立して出現している場合は、両者の因果関係には言及せず、「妄想症、身体型」と「双極症 II型、今回のエピソードは軽躁」の併存とすべきであろう。

正) 4 最終診断

皮膚寄生虫妄想が躁病の寛解後に消失するならば、本症例の診断は「双極症 **I型**、現在のエピソードは**躁**、気分不一致精神症性エピソードを伴う」となるであろう (診断時点では躁症状そのものは軽躁であるが、DSM-5のルールに則ると、精神病性症状がある場合は躁エピソードとすることになっている)。しかしどちらも独立して出現している場合は、両者の因果関係には言及せず、「妄想症、身体型」と「双極症 II型、今回のエピソードは軽躁」の併存とすべきであろう。